

一次救命処置の流れ

救命の連鎖



・心停止の予防 ・早期認識と通報 ・一次救命処置 (心肺蘇生とAED) ・二次救命処置と心拍再開後の集中治療

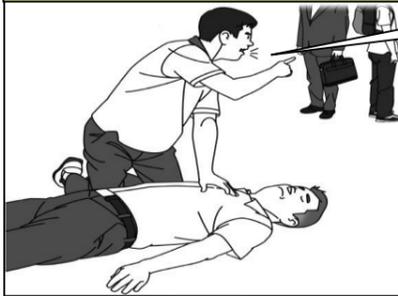
安全確認・反応の確認



(肩を叩きながら、大きな声で) もしもし、大丈夫ですか？

- ◎まずは、自分自身の安全を確認する
- ◎反応なしと判断する場合は…
 - ・呼びかけた時に、返答や開眼などの目的のある仕草がない
 - ・ひきつるような動き(ケイレン)をしている
 - ・判断に迷った時

119番通報とAED手配を依頼



誰か来てください！！
あなた、119番通報して下さい！
あなた、AEDを持って来て下さい！

- ◎そばに誰がいる場合
 - ・その人に119番通報やAEDを持ってきてもらうよう依頼する。
- ◎誰もいない場合
 - ・自分で119番通報を行ない、AED(近くにあれば)を取りに行き、その後心肺蘇生を開始する。
- ◎119番通報時に、電話で心肺蘇生法の助言、具体的な指導を聞いて下さい。

呼吸の確認



(胸と腹部の上り下がり動きを見て) 胸・お腹、1・2・3・4・5、呼吸なし！

- ◎呼吸の観察は…
 - ・胸と腹部の動き(上がり下がり)を見る
 - ・5秒以上10秒以内で
- ◎呼吸なしと判断するには…
 - ・胸と腹部が動いていない
 - ・しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸をしている(死戦期呼吸)
 - ・判断に迷った時

呼吸あり

◎反応はないが、普段どおりの呼吸をしているときは…

- ・呼吸(胸や腹部の動き)を、とくに注意して様子を見る
- ・様子を見ながら、応援や救急隊を待つ

※呼吸が認められなくなったり、普段どおりの呼吸をしなくなったときや、判断に迷った時はただちに胸骨圧迫を再開する

胸骨圧迫

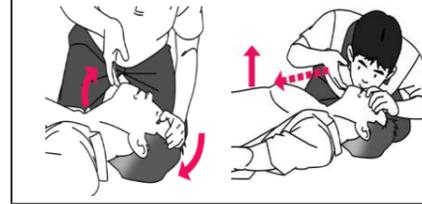


呼吸なしと判断したら、ただちに胸骨圧迫を開始

- ・胸骨圧迫の方法は…
 - 胸の真ん中を強く・早く・絶え間なく実施する
 - ◎強く=胸が約5cm沈み込むように
 - ※乳児・小児では胸の厚さの約1/3沈み込む程度
 - ◎早く=1分間に100~120回
 - ◎絶え間なく=可能な限り中断せずに(中断は10秒以内)
- ・圧迫を緩めるときは、胸が元の位置に戻るよう圧迫を解除する
- ・床が固い場所で行う
- ・1~2分を目安に交代する

人工呼吸の技術と意思がある場合は
胸骨圧迫(30回)と人工呼吸(2回)を組み合わせる

気道確保・人工呼吸



- ◎気道確保
 - ・片手で額を押さえ、もう片方の手の指先であごの先端に当てて押し上げる
- ◎人工呼吸
 - 気道確保をしたまま
 - ・自分の口で相手の口を覆い、鼻をつまむ
 - ・約1秒の吹き込みを2回
 - ・息を吹き込んだ時に、胸が上がるのが目標
 - ※息の吹き込みは2回まで！
 - (胸が上がっても上がらなくても)
 - 中断時間は10秒以上にならないようにする！

人工呼吸のやり方に自信がない場合や、ためらいがある場合は
胸骨圧迫だけを必ず行ってください

AEDの取り扱い



★取り扱い手順★(基本的に音声メッセージとランプに従って操作します)

- 電源を入れる(フタを開けると自動で電源が入る機種もある)
- 電極パッドを胸にしっかりと貼り付ける(パッドのイラストに従う)
- 電極パッドのコネクターを接続する(接続されている機種もある)
- AEDが患者の心電図を解析する(患者に誰も触れていないか確認する)
- 電気ショックと心肺蘇生の再開
 - 電気ショックの指示が出たら？
 - ・AEDが充電を開始するので、再び患者に誰も触れていないかを確認する
 - ・点灯する電気ショックボタンを押す
 - ・ショック後、ただちに胸骨圧迫を開始する
 - 電気ショック不要の指示が出たら？
 - ・ただちに胸骨圧迫を開始する

★注意★

- ・患者が濡れている場合は、乾いたタオルなどで胸を拭く
- ・パッドを貼る位置に、貼り薬がある場合は取り除き、肌に残った薬剤を取り除く
- ・ペースメーカーなどの医療器具が埋め込まれている場合は、胸に硬いコブのような出っ張りがあるので、そこを避けてパッドを貼りつける
- ・未就学児(小学生未満)には小児用パッドを使い、ない場合は成人用パッドを代用する
- ・小児用パッドを成人(小学生以上)には使用しない

呼吸なし



このQRコードから「死戦期呼吸」の動画を見ることが出来ます

乳児(1歳未満)の一次救命処置の最適な方法

- ◎人工呼吸が重要
 - 乳児は呼吸が悪くなったことが原因で心停止になることが多いため、できる限り人工呼吸もあわせた心肺蘇生を行うことが望ましい。
- ◎胸骨圧迫の方法
 - 目安=両乳頭を結ぶ線の少し足側 圧迫方法=胸骨下半分を2本指で



- ◎人工呼吸の方法
 - 救助者は大きく開いた口で乳児の口と鼻を一緒に覆い胸が軽く上がる程度まで吹き込む

